

令和 6 年 5 月 24 日

長野県知事 様

令和 6 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和4年度から令和6年度	
会社名	北沢建設株式会社	
住所	〒395-0085 長野県飯田市吾妻町7番地	
代表者名	代表取締役 北沢資謹	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	工事部	
担当者名	部長 坂下 保	
連絡先	T E L	0265-23-0072
	F A X	0265-23-0940
	電子メールアドレス	sakashita@kitazawakensetsu.co.jp
ホームページアドレス	http:// kitazawakensetsu.co.jp	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設工事において発生する産業廃棄物は、マニフェストにて 100% 適正処理を行う。 ・ 施工段階において、処理状況を適時に確認・指導することで、社員の適正処理意識の向上を図る。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	6 年度目標値	5 年度実績値	4 年度実績値	3 年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m ³)	2,290	2304.53	6073.55	5009.22
リサイクル量の推移 (t・kg・m ³)	2,234	2246.61	5964.03	4689.98
売上高の推移 (円)		2,575,000,000	3,147,000,000	3,612,000,000

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ・ 工事で発生する材料の切端などが極力発生しないよう製品の有効利用を常に推進する。
- ・ 過度の梱包による梱包材の廃棄を抑制する。
- ・ 片面使用済みの用紙を、再利用する（社内文書等）
- ・ 建設工事で発生する廃棄物は、マニフェストにて適正処理する。
- ・ 産業廃棄物の排出削減に向け、材料梱包の簡略化等を納入業者にも協力してもらい様に継続していく。
- ・ ISO14001 の認証を維持する。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・ 産業廃棄物処理責任者等
- ・ 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・ 産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・ 処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・ 従業員教育（研修）計画
- ・ リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・ 処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・ 不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・ 自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・ 独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	6年度目標値	5年度実績値	4年度実績値	3年度実績値
再生 砕石	100	100	100	100
再生 合材	100	100	100	100
全体	100	100	100	100